



沖美町

人口：「4,119人」
 (平成15年3月末、住民基本台帳による)
 面積：「27.60km²」
 町の花：「コスモス」
 町の木：「桜」
 キャッチフレーズ：
 「ふれあいの里OKIMI
 碧い海と緑の島に、人と自然の調和した「光輝く豊かなまちづくり」

広島県をはじめ広島・山口両県にまたがる広島湾域6市16町の自治体と商工会議所・商工会で組織する「広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会」では、海から見た都市づくりをめざす「海生都市圏構想」実現のため、共生・分担・交流・連携をキーワードに積極的な事業を展開しています。このコーナーでは、湾域各市・町の様々な情報を毎月ご紹介しています。

—美しい自然 碧い海と緑あふれるまち 沖美町—

広島湾に浮かぶ能美島の西部に位置する沖美町は、三方を海に囲まれた大小五つの島からなる美しい自然に恵まれた町です。今年3月に新装オープンした「広島港宇品旅客ターミナル」から町の玄関口の三高港まで能美島シャトルライン(1日19便)で結ばれ、快速フェリーでは、30分程で到着いたします。町の中央にそびえる砲台山には、日露戦争時に造られた砲台の遺構が残っており、現在、そこは「砲台山森林公園」として



砲台山から広島湾を望む



沖美町かきカキマラソン

瀬戸内海特有の温暖な気候の沖美町は、心なごむ花の一大生産地です。菊、スイートピー、カーネーション、デルフィニウムなど多品種の花が栽培されており、電照菊栽培のハウスの灯は秋の風物詩となっています。また、海の幸では、恵まれた海域を利用して「海のミルク」と称される良質の牡蠣が養殖されています。カキ筏は日本一の保有量を誇り、清浄海域で育つ

かき(花弁)とカキ(牡蠣)のまち

整備されています。晴れた日には、頂上から遠くは山口県の大島や広島湾をパノラマ的に一望できます。山頂までは林道が整備されており、瀬戸内の潮風を感じながらのウォーキングやハイキングは格別です。

沖美町の西側は、夕陽の景勝地でありドライブに最適です。四季折々、時折々に変わる景色には感動を覚えるでしょう。また、延長500mの砂浜を誇る入鹿海岸には、観光レクリエーション施設としてベースハウス(トイレ・シャワー)、遊歩道、休憩所などが整備され、さらに滞在型の宿泊施設である「サンビーチおきみ」があります。瀬戸内海の美しい景色を楽しまながら旅を満喫することが出来る



沖美西海岸から望む夕陽

夕陽・入鹿海岸

た牡蠣は、生食用として全国に出荷され好評を得ています。毎年、3月の第一日曜日には、町の特産であるかき(花弁)とカキ(牡蠣)にちなんだ健康ファミリーマラソン大会「沖美町かきカキマラソン」が開催されており、参加者への花束のプレゼントや焼いたカラ付き牡蠣の食べ放題コーナー等も設けられ、町内外から多くのランナーが訪れ、大変な盛況を博しています。

■沖美町のイベント情報■

平成15年8月初旬 おきみ水軍フェスタ
 11月初旬 沖美フェスティバル
 (問合せ先) 沖美町産業建設課
 TEL (0823) 48-0211

平成16年3月7日 第27回沖美町かきカキマラソン大会
 (※参加募集期間 平成15年11月末~12月末)
 (問合せ先) 沖美町教育委員会
 TEL (0823) 47-0211



おきみ水軍フェスタ出陣風景

ます。8月にはおきみ水軍フェスタが開催され、時代絵巻とともに夕暮れの海岸は、打ち上げ花火で彩られます。